

# 夏の農業応援団

(中)

「種なる山々。緑に輝く水田。日本の農村はどこでも美しい」。米田人のローレンス・ハリントンさん(92歳)は、熊本県小国町の農家・波多野敏さん(45)の方で活躍し、日本の農村生活を紹介している。

## 一覧表で検索

農作業を手伝う代わりに食事と酒の提供を受ける「WWOOF(ウィーフ)」と呼ばれるシステムを採用して、7月に来日。10月まで滞在する予定だ。

ウィーフは会員制で、受け入れられる。

## ウィーフ

# 旅から学ぶ農と食

入れる前のホスト(農家)と、そこで働くウィーフアールと出会った人たちは分かれ、それぞれがそれぞれの道を歩いている。ウィーフは、農業や食に興味を持つ世界中の若者に

1年に英国で始まり、現在は世界30カ国以上に事務局がある。日本では2002年から本格的に広まった。波多野さんは4年前からホストとして登録。毎年30人ほどの外国人を受け入れる。これまで米田のほか、英国やイスラエル、アイルランド、台湾から、助っ人を迎えた。



波多野さんは留学経験があり、英語が得意。ハリントンさんは「農村の人たちはみんな親切」と話す

とって、新しい旅のスタイルとつながっている。ウィーフは、農業や食に興味がある人たちが集まる場所だ。

「米田の若者のほとんどは、農業のことなんか考えない。僕みたいなのは珍らしい」と笑う。

「苦勞多いが…」水田とトマトやキュウリを作る畑の合わせで、農作業はこれまで経験したこ

な一で家ニ 聞が農 一のてき一するま一てなると